

(教職員による)自己評価結果(学校運営)

平成 25 年度重点テーマ	自己評価に基づく総合的学校運営及び教育の改善
目標(ねらい)	教育理念に沿った教育目標を達成するために、学校運営の改善を図る。

A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:まったくあてはまらない

分類	評価の観点	評価項目	設問	A	B	C	D
学校運営	私学の独自性	教育目標について	教育目標が教職員、生徒、保護者など、学校関係者によく浸透している。	7	50	39	2
		愛校心について	在校生、卒業生は学校に誇りを持っている。	7	48	42	3
	教育課程	学習指導要領の対応状況	教育課程は学習指導要領に沿っている。	26	55	13	2
		教育計画について	年間を通じた教育計画を各教科別に立てている。	34	55	8	0
	教職員連携	教員・教科間連携状況	教員間教科間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている。	9	50	31	6
		教員と事務職員の連携状況	教員と事務職員の情報交換の機会があり、相互理解、連携はとれている。	8	48	29	10
		会議の有効性	教職員会議をはじめ各種会議が有効かつ効率的に機能している。	4	45	40	7
	財務関係	財務に関する意識	学校の経営指標と財務状況について理解している。	3	29	45	21
		財務状況の把握について	予算、決算の収支の状況について理解している。	3	25	48	21
		評議員・理事会機能について	評議員会、理事会の役割や機能について理解している。	4	28	46	19
	情報公開	ホームページの活用状況	学校ホームページで可能な範囲の情報公開をしている。	25	56	13	5
		授業公開状況	保護者などへ授業を公開している。	1	10	34	52
	危機管理	役割分担について	事故、事件、災害時に対処する役割分担が明確にされている。	14	57	23	3
		危機管理対応状況	危機管理マニュアル、警察、消防との連携、訓練など学校の安全対策は十分とられている。	12	42	39	3
	開かれた学校づくり	地域交流について	地域や地域住民との交流ができています。	3	31	39	23

学校長所見 及び 今後の課題・ 改善方策等	<p>平成18年度に教育目標「翔け 希望大学へ！翔け モノづくりへ！翔け 全国大会へ！」を確立して以来、幾度となく啓発し、広報を繰り返してきた。そのおかげで、かなり浸透してきた。愛校心についても、今後も楽しい学校づくりに取り組み、より一層高める努力をしていきたい。地域に愛される学校づくりを進めたい。</p> <p>教育課程については問題なく進行している。教職員連携においては、効率的に機能しているが、なお一層の連携強化に取り組みたい。</p> <p>財務関係については、機会をみては説明をし、財務の状況等を予算・決算状況を踏まえて理解していただくことが必要である。</p> <p>今後は、地域交流も含めた対外的な活動への強化が望まれる。</p>
--------------------------------	---